



まつがおか

千葉市立松ヶ丘小学校

祝 松ヶ丘小 65 周年。

校長 吉田 英明

校庭のソメイヨシノもすっかり葉を落とし、木枯らしが身にしみる季節となりました。11月の初めのころは、100年ぶりに夏日を記録するなど異例の暑さでした。その時には半袖の子が多かったのですが、今では暖かそうな上着を着て登校する子が増えました。着実に冬が始まっています。気が付けば12月。校門の横の木にもクリスマスの飾りが施され、夕方になるとソーラー電池を使って電飾に光が入ります。今年ももうすぐ終わりだと改めて思う今日この頃です。

さて、11月28日（火）には松ヶ丘小学校の65周年を記念した航空写真・全校写真・学級写真の撮影が行われました。朝から業者の方が石灰を使って校庭に描いてくれた下絵の上に、緑や黄色のエプロンを装着した子どもたちが並び、校章である「松の葉」を表現しました。最近ではドローンによる撮影も多いのですが、今回はセスナが約70km離れた調布飛行場より飛来し、子どもたちが表現した「松の葉」を撮影してくれました。セスナが来るというだけで子どもたちは大喜び。ちなみに、松ヶ丘小学校は大森小学校より分離し、昭和34年4月に開校しました。6学級で、児童数は254名だったそうです。その後児童数は増え続け、本校から川戸小学校、星久喜小学校、仁戸名小学校が分離しています。

また、校章（題字の横 参照）には次の由来があります。

- 後方の円 地域、家庭、学校の連携を願う
- 三つの葉 松の葉を表す。知・徳・体の調和をめざし、それぞれの発展を願う。

現在在籍している子どもたちを育てることが、次の70周年、そして100周年に繋がることだと、65周年を機に強く思いました。

11月18日（土）には、学習参観、そしてバザーが行われました。子どもたちはお家の人が来るからでしょうか。それともバザーがあるからでしょうか。登校時からニコニコ、ワクワクの顔をしていました。学習参観でのお子さんの頑張りはいかがでしたか。各学級とも、めあてに向かい子どもたちはよく頑張っていたと思います。

お昼からはバザー。飲食を伴うバザーは令和元年以来、4年ぶりでした。食べて、飲んで、遊べて、買い物ができるバザーを子どもたちは大いに楽しんでいました。そのバザーを無事行えたのは、何か月も前から準備をしてくださったPTAの皆さんのおかげです。お忙しい中、子どもたちのためにご尽力いただき、紙面をお借りして、改めて感謝申し上げます。

冒頭にも記しましたが、今年も残すところあと1か月。よい年を迎えられるように、子どもたちと共に充実した日々を築いて参ります。